

- 28:1 まことに、銀には鉱山があり、
金には精練する所がある。
- 28:2 鉄は土から取られ、
銅は石を溶かして取る。
- 28:3 人はやみを目当てとし、
その隅々にまで行って、
暗やみと暗黒の石を捜し出す。
- 28:4 彼は、人里離れた所に、
縦坑を掘り込み、
行きかう人に忘れられ、
人から離れてそこにぶら下がり、
揺れ動く。
- 28:5 地そのものは、そこから食物を出すが、
その下は火のように沸き返っている。
- 28:6 その石はサファイヤの出のもと、
そのちりには金がある。
- 28:7 その通り道は猛禽も知らず、
はやぶさの目も
これをねらったことがない。
- 28:8 誇り高い獣もこれを踏まず、
たける獅子もここを通ったことがない。
- 28:9 彼は堅い岩に手を加え、
山々をその基からくつがえす。
- 28:10 彼は岩に坑道を切り開き、
その目はすべての宝を見る。
- 28:11 彼は川をせきとめ、
したたることもないようにし、
隠されている物を明るみに持ち出す。

銀、金、鉄、銅、サファイヤなどは非常に価値のあるものです。それらを採取する技術は当時も高く、知恵、経験、知識、精神力を駆使して発見した様子、ヨブは語ります。そしてそれは、次に述べる「しかし、知恵はどこから見つけ出されるのか」に

続きます。

この世で価値あるとされるものを生産または達成するために、人々は全力を傾け技術を磨きますが、神の知恵はそのような人間の能力によっては見つけられないということです。

ヨブは少しずつ神の絶対的権威について、気づき初めているようです。私たちもこの世の価値あるもの、またそれを得ようとして努力することに敬意を表しながらも、この世のものではない永遠のいのちの絶大なる価値と、そのいのちを与える神の知恵のことばの絶大なる価値を薄めないようにしましょう。

I コリントに、「1:20 知者はどこにいるのですか。学者はどこにいるのですか。この世の議論家はどこにいるのですか。神は、この世の知恵を愚かなものにされたではありませんか。1:21 事実、この世が自分の知恵によって神を知ることがないのは、神の知恵によるのです。それゆえ、神はみこころによって、宣教のことばの愚かさを通して、信じる者を救おうと定められたのです。」とあるように、主の知恵の前にへりくだりつつ、主の知恵があることに確信を持って、前進してゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

